

令和3年3月12日

浜松河川国道事務所

国道1号浜松バイパス（浜松市東区^{ながつるちょう}長鶴町～浜松市南区^{なかたじまちょう}中田島町）
の計画について意見聴取を実施します

～地域の皆様のご意見をお聞かせください～

国土交通省では国道1号浜松バイパス（浜松市東区^{ながつるちょう}長鶴町～浜松市南区^{なかたじまちょう}中田島町）について、計画段階評価※を進めているところです。

計画策定に際し、周辺地域にお住まいの方、道路を利用される方のご意見をお聞かせ頂くためにアンケート調査を実施いたします。

※計画段階評価とは、新規事業採択の前段階において、政策目標を明確化した上で、複数の対策案の比較表を行うもの

1. 調査概要

（1）アンケート調査（郵送）※周辺地域にお住まいの方

浜松市（天竜区除く）、湖西市、磐田市にお住まいの方を対象に、無作為抽出による郵送アンケート調査を実施いたします。

【郵送時期】令和3年3月下旬頃を目途に順次発送いたします。

（2）アンケート調査（ウェブ／留置方式）※道路をご利用される方

浜松河川国道事務所のホームページにアンケートウェブページを開設し、アンケート調査を実施いたします。

また、近隣の道の駅やSA／PA、浜松市・湖西市・磐田市の各市（区）役所において留置方式によるアンケート調査を実施いたします。

【実施時期】令和3年3月15日（月）～令和3年5月9日（日）まで

2. 配布資料

資料1：アンケート調査方法

資料2：アンケート調査票

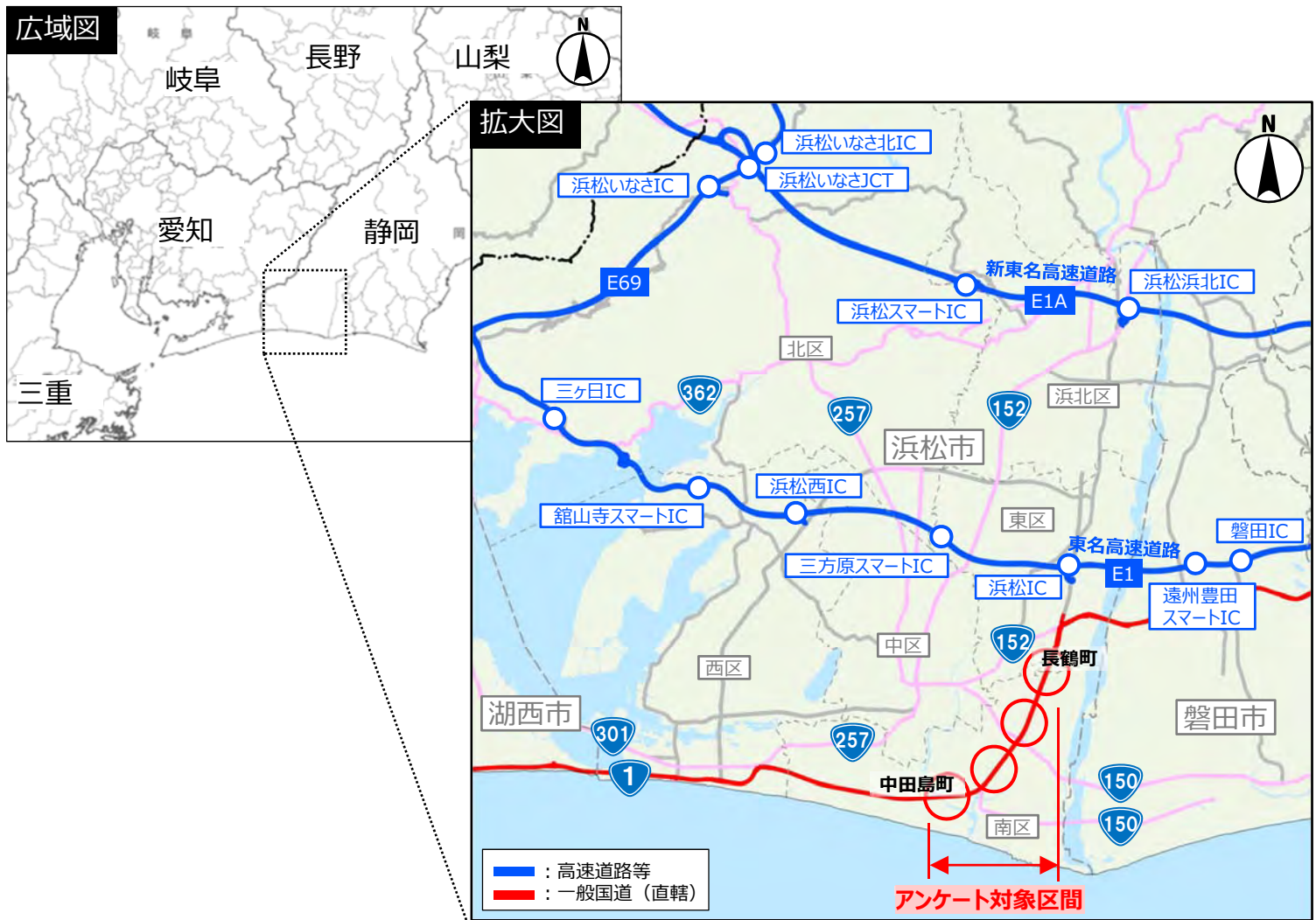
【配布先】静岡県政記者クラブ、浜松市政記者クラブ、湖西市、磐田市

問合せ先 国土交通省 中部地方整備局 浜松河川国道事務所

副所長 長谷川 裕修 、 計画課長 松尾 賢二

電話番号：053-466-0117

ファックス：053-466-0123



回答方法

1) 浜松市（天竜区除く）、湖西市、磐田市にお住まいの方を対象に、無作為抽出による郵送アンケート調査にて回答。

※webページでの回答も可能です。

※各ご家庭へ順次発送いたします。

2) 浜松河川国道事務所ホームページのアンケートウェブページにて回答。

(<https://www.cbr.mlit.go.jp/hamamatsu/>)

3) 道の駅や近隣のSA/PAに設置するアンケート調査票にて回答。

《道の駅》 潮見坂

《SA/PA》 浜松SA、浜名湖SA、三方原PA、遠州豊田PA

※アンケート票は順次設置いたします。

4) 浜松市（中区、東区、南区）、湖西市、磐田市の各市（区）役所へ設置するアンケート調査票にて回答。

※ポスター等からwebページにアクセスしての回答も可能です。

※アンケート票は順次設置いたします。

道路計画に関するご意見をお聴かせください

はままつ

はままつし ひがしく ながつるちょう

はままつし みなみく なかたじまちょう

国道1号浜松バイパス（浜松市東区長鶴町～浜松市南区中田島町）

の計画に関するアンケート調査



本アンケート調査は、国道1号浜松バイパス（浜松市東区長鶴町～浜松市南区中田島町）の計画策定にあたり、皆様の生活に役立つ道路となるよう、周辺地域の皆様のご意見をお聴かせ頂くために実施するものです。

本アンケート調査は、国道1号浜松バイパスについて、地域の皆様が日ごろ感じられている交通面での課題及び課題を解決するための対策等について、ご意見を伺うものです。

浜松市、湖西市、磐田市の方を対象にアンケート調査実施のご案内を送付し、ご回答をお願いしております。

ご返送頂いたハガキは、浜松河川国道事務所にて集計を行います。

ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

※郵送先住所は、住民基本台帳法に基づき、自治体の協力を得て調査しています。

アンケートの答え方は
P.2をご覧ください

郵便ハガキによる回答は、
2021年5月9日(日)
までお願い致します。

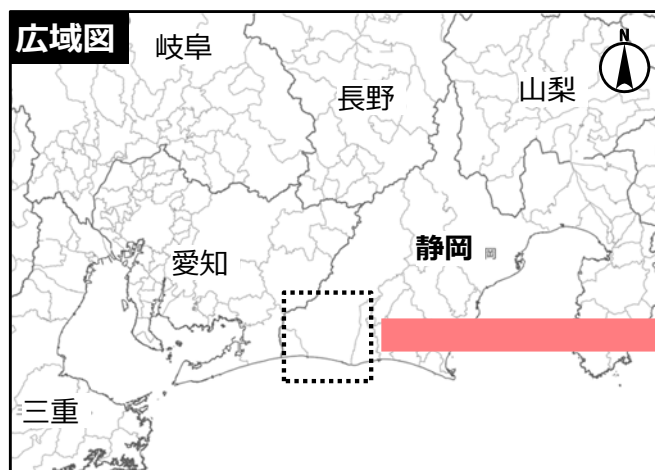
※この期間以降にご回答頂いた場合、
集計に反映されない場合があります。

お問い合わせ先



国土交通省 中部地方整備局
浜松河川国道事務所 計画課

〒430-0811 静岡県浜松市中区名塚町266
電話：(053) 466-0117 (直通：平日8:30～17:15)
ホームページ：<https://www.cbr.mlit.go.jp/hamamatsu/>



アンケートの答え方

手順①：アンケートの対象区間を確認して下さい。

P.1にアンケートの対象区間を示しています。

アンケートの対象区間を確認して下さい。(右図赤枠)



手順②：P.3～7を見ながら回答してください。

回答方法は下記の回答方法①又は②のどちらか一方を選んでください。



【回答方法①】

下記より、WEBページ内の手順に沿って回答してください。



<https://www.net-research.jp/1073651/hamamatsu01/>

【回答方法②】

回答用紙（返信用ハガキ）に記入の上、ポストへ投函してください。

回答用紙（ハガキ）



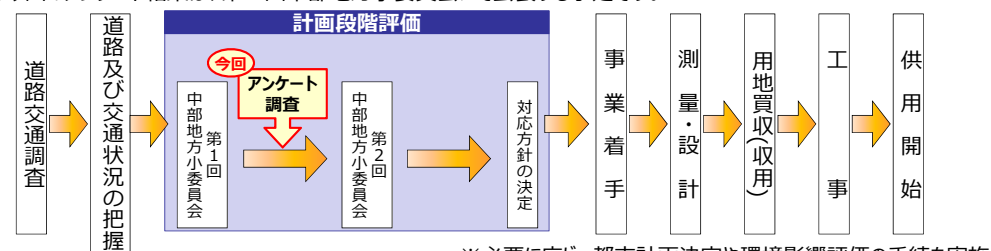
～ 意見聴取の回答方法、実施期間 ～

郵便ハガキによる回答は、**2021年5月9日（日）**までにお願ひ致します。

※この期間以降にご回答いただいた場合、集計に反映されない場合があります。

道路事業の流れ（計画段階評価の流れ）

- 計画段階評価では、地域の皆様のご意見をお伺いしながら、地域の状況と課題、道路に求められる役割等を整理し、今後整備を進める道路について、概ねのルートや構造を評価していきます。
- 今回行うアンケート調査では、皆様が日頃感じている道路の課題や対策案（構造）の検討に際し重視すべき項目等についてお聞きします。
- 今後、本アンケート結果を基に、道路整備の方針を検討（対応方針の検討）いたします。
※今回のアンケート結果は、第2回中部地方小委員会にて公表する予定です。



※必要に応じ、都市計画決定や環境影響評価の手続を実施

回答用の郵送ハガキの記入例

- 問1-1～1-4は、あてはまる番号に**1つだけ**○（マル）をしてください。
- 問1-5は、目的地の**住所を記載**してください。（○丁目以下は記載なしで構いません。）
- 問2、問3は4段階評価の質問です。**各項目について1つずつ**○（マル）をつけてください。その他は自由回答（必須ではありません。）です。具体的なお意見をお書きください。
- 問4の設問は自由回答（必須ではありません。）です。具体的なお意見をお書きください。

※この地域周辺の道路を利用される皆さまのご意見を広くお聞きすることを目的としています。このため、回答用の調査票に記入された内容は、目的以外には使用いたしません。

＜オモテ面＞

＜ウラ面＞

該当する数字を丸で囲んで下さい。
その他の交通課題がありましたらご記入下さい。

該当する数字を丸で囲んで下さい。
その他の重要だと思われることがありましたらご記入下さい。

ご自由にご意見をお書き下さい。

は ま ま つ 国道1号浜松バイパス (長鶴町～中田島町) 周辺の特徴

- ・浜松市は静岡市と並び静岡県内最大の都市であり、約80万の人口を抱えています。(県内1位)
- ・製造業を中心とした産業が盛んで輸送機器メーカーや楽器メーカー、電気機器メーカー等世界的な企業も多数立地しています。楽器等の製造品出荷額は全国で約7割のシェアを誇ります。
- ・国道1号浜松バイパスは、地域の産業を支えると共に、災害時には緊急輸送道路として重要な道路です。

特徴①：人口集中

静岡県内人口1位：約80万人

特徴②：輸送機器製造集積地

浜松市は、スズキやホンダ、ヤマハ発動機など、世界を舞台に活躍する輸送機器メーカーが立地し、部品メーカーなど輸送機器製造に係わる多くの企業が集積する国内有数の産業都市です。



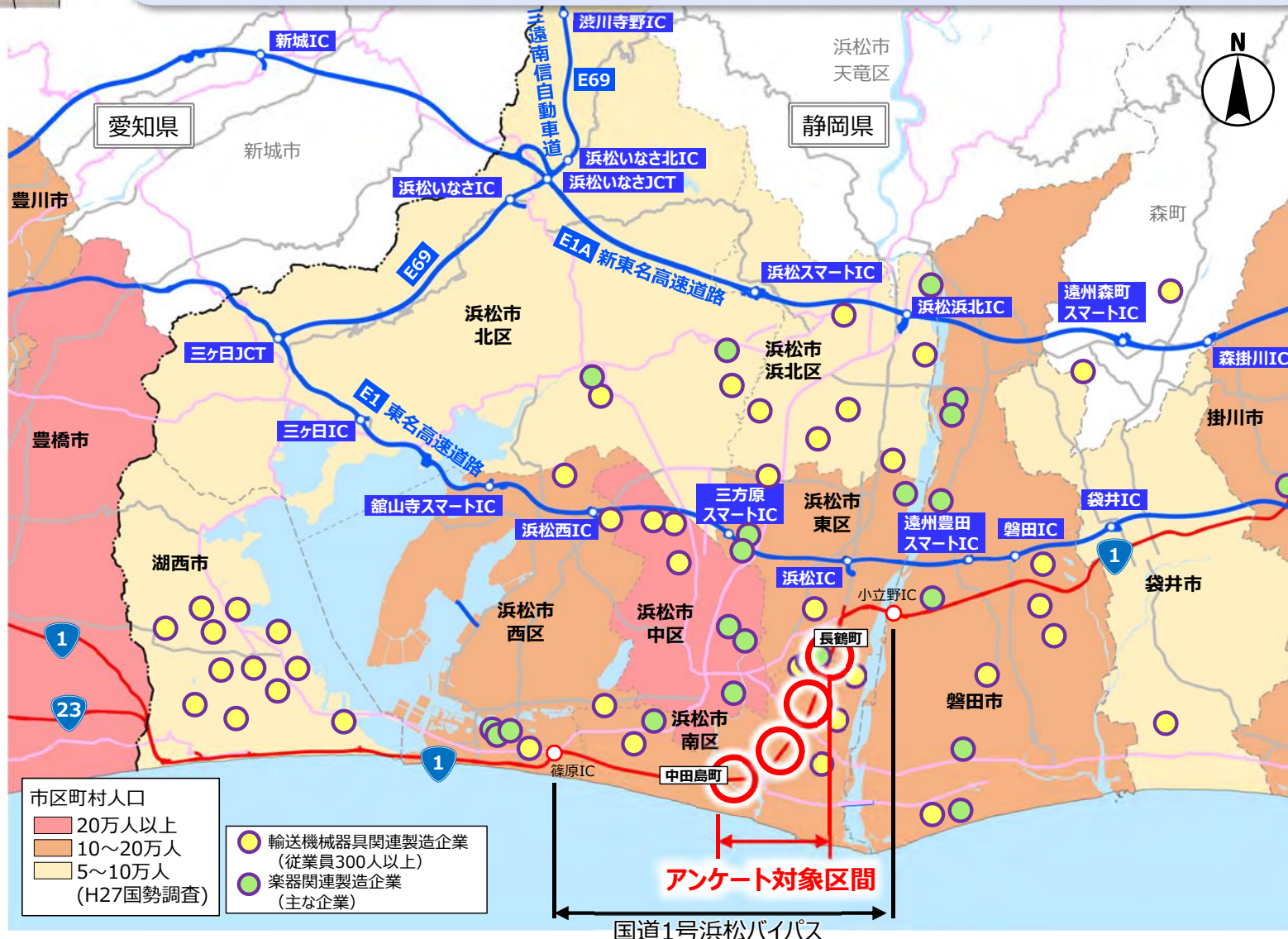
特徴③：楽器製造集積地

浜松市周辺には河合楽器、ヤマハ、ローランドなど日本を代表する楽器メーカーがあり、楽器等の製造品出荷額では静岡県が全国の約7割のシェアを占め、主要なメーカーの工場は浜松市、磐田市に立地しています。



特徴④：緊急輸送道路

災害時において重要な役割を担う道路



国道1号浜松バイパス（長鶴町～中田島町）における「交通課題」と「課題を解決するための目標」

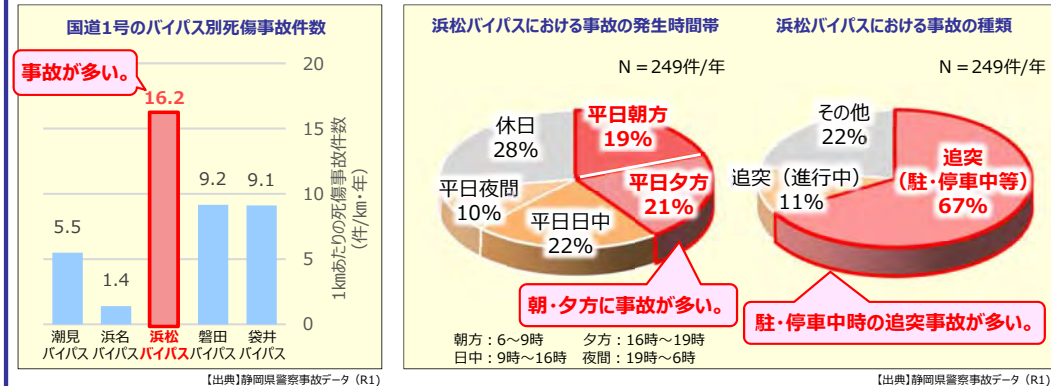
物流に関する課題

- 浜松バイパスは**交通が集中**しており、特に**大型車の交通が多い**状況です。
- アンケート対象区間は、**浜松市南区飯田町～芳川町を中心に信号交差点が多く**、その影響で近隣のバイパスに比べて速度が遅くなっています。



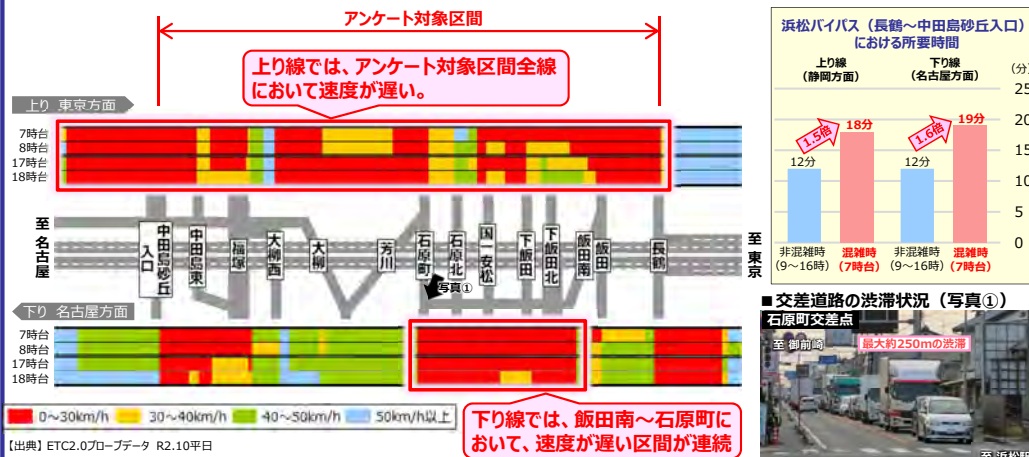
安全に関する課題

- 浜松市は政令市の中で人身事故件数が最も多く、浜松バイパスにおいても**近隣バイパスと比べ事故が多く**、**平日の朝・夕方に多発**しています。
- 事故の約**7割が駐・停車中の追突事故**であり、信号交差点が多いことや交通の集中が事故の要因と考えられます。



地域交通に関する課題

- アンケート対象区間では、**朝7時台を中心に渋滞が発生**しており、朝の所要時間が日中の約1.5倍となっています。
- 交差道路においても渋滞が発生し、石原町交差点で顕著**です。



課題を解決するための目標

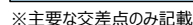
【物流に関する課題】
速達性向上による
産業活性化支援

【地域交通に関する課題】
渋滞緩和による
地域交通の円滑化

【安全に関する課題】
交通安全の確保



アンケート対象区間の沿道は、まちづくりや市街化が進んでいることから、国道1号浜松バイパス上での対策案を考えました。



P.5

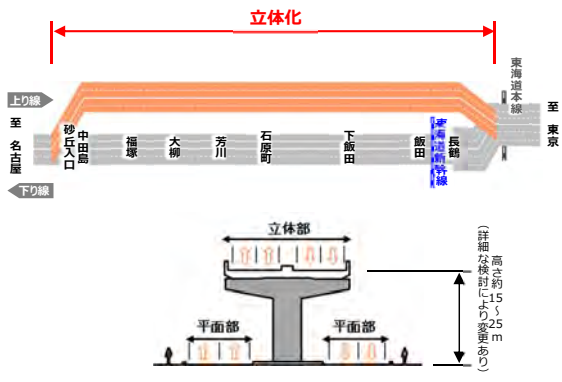
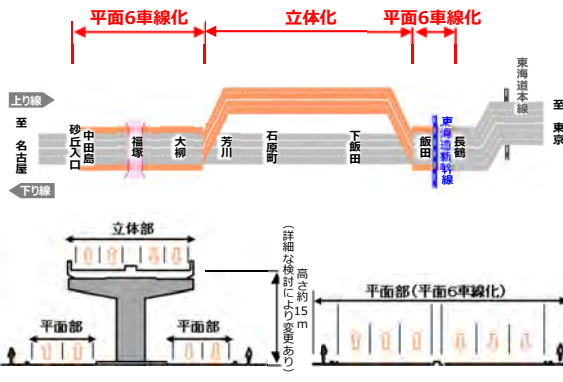
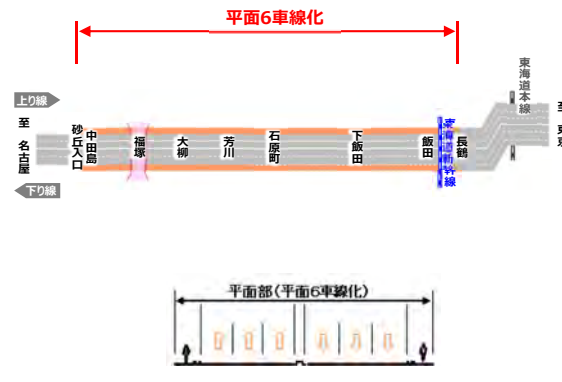
は ま ま つ 国道1号浜松バイパスの交通課題を解決するための対策案の比較

評価軸			【案①】全線立体化	【案②】立体化+平面6車線化	【案③】平面6車線化
対策案の概要 (道路構造及び道路機能)			全線立体化による通過交通と地域交通の分離により平面部の交通量減少を図る案	信号が多い区間（市街化区域）の立体化により、通過交通と地域交通を分離すると共に、残区間の平面6車線化等により、交通の円滑化を図る案	全線平面6車線化により、1回の青信号で通過できる交通を増加させ、交通の円滑化を図る案
「政策目標」に対する評価	速達性向上による産業活性化支援	日中における旅行速度が向上	旅行速度が大幅に向上 【日中の平均旅行速度（平日）※】 長鶴～中田島砂丘入口：約30km/h ⇒ 約60km/h 〔・全線立体化により信号交差点を全て回避〕	旅行速度が向上 【日中の平均旅行速度（平日）※】 長鶴～中田島砂丘入口：約30km/h ⇒ 約50km/h 〔・立体化により信号が特に多い区間を回避〕	旅行速度の向上は限定的 【日中の平均旅行速度（平日）※】 長鶴～中田島砂丘入口：約30km/h ⇒ 約40km/h 〔・信号交差点を回避できない〕
	渋滞緩和による地域交通の円滑化	渋滞が少なく快適な走行が可能	渋滞の緩和が期待できる 〔・全線立体化により平面部交通量が減少〕	渋滞の緩和が期待できる 〔・立体化区間の平面部交通量が減少 ・平面6車線化により1回の青信号で通過できる交通が増加〕	渋滞の緩和が十分に期待できない 〔・1回の青時間で通過できる交通が増加するが、信号が多い区間では効果が低い〕
			渋滞の緩和が期待できる 〔・浜松バイパス平面部の交通量減少に伴い、交差道路の信号青時間増加が期待できる〕	渋滞の緩和が期待できる 〔・浜松バイパス立体区間の平面部交通量減少に伴い、交差道路の信号青時間増加が期待できる ・平面6車線区間の交差道路交通量の減少に伴い、信号待ち時間の短縮が期待できる〕	渋滞の緩和が十分に期待できない 〔・浜松バイパス平面部の交通量が減少しないため、交差道路の信号青時間増加が期待できない〕
	交通安全の確保	交通事故が少なく安全性が高い	交通事故の減少が期待できる 〔・対象区間及び交差道路の渋滞が緩和〕	交通事故の減少が期待できる 〔・対象区間及び交差道路の渋滞が緩和〕	交通事故の減少がある程度期待できる 〔・対象区間及び交差道路の渋滞が幾分緩和〕

※（現況）
※（案①～③）

：ETC2.0データ（R2.10月：平日7～19時 平均値）より算出
：近隣国道1号の立体4車線区間及び平面6車線区間におけるETC2.0データ（R2.10月：平日7～19時 平均値）より算出

はまつ 国道1号浜松バイパスの交通課題を解決するための対策案の比較

評価軸			【案①】全線立体化	【案②】立体化+平面6車線化	【案③】平面6車線化
対策案の概要 (道路構造及び道路機能)			 全線立体化による通過交通と地域交通の分離により平面部の交通量減少を図る案	 信号が多い区間（市街化区域）の立体化により、通過交通と地域交通を分離すると共に、残区間の平面6車線化等により、交通の円滑化を図る案	 全線平面6車線化により、1回の青信号で通過できる交通を増加させ、交通の円滑化を図る案
「配慮すべきポイント」に対する評価	生活環境への配慮	騒音による影響が小さい	騒音の低減が最も期待できる 〔・平面部の交通量が減少（全区間の平面部）〕	騒音の低減が期待できる 〔・平面部の交通量が減少（立体化区間の平面部）〕	騒音の低減が十分期待できない 〔・平面部の交通量が増加〕
		日照障害による影響が小さい	日照障害による影響が大きい	日照障害による影響が小さい	日照障害による影響がない
		用地買収範囲が小さい※	用地買収範囲が大きい 〔・インターチェンジ部、立体・平面の合流部〕	用地買収範囲が小さい 〔・立体・平面の合流部、新幹線交差部〕	用地買収範囲が僅か 〔・新幹線交差部〕
	工事中の影響	通行車両への影響が小さい	通行車両への影響が最も大きい 〔・工事による規制範囲は広く、規制期間も長い〕	通行車両への影響が小さい 〔・工事による規制範囲及び期間が抑えられる〕	通行車両への影響が最も小さい 〔・工事による規制範囲は狭く、規制期間も短い〕
	経済性	建設に要する費用が安い	約1,000億円～1,200億円	約550億円～650億円	約300億円～400億円
整備効果の発現			効果発現までの期間が長い	効果発現までの期間が短い	効果発現までの期間が最も短い

※用地買収範囲：対応方針決定後、詳細な検討を行い用地買収範囲を決定する

国道1号浜松バイパス（浜松市東区長鶴町～浜松市南区中田島町）の計画に関するアンケート調査

下記を参考に、同封のハガキへ必要事項を記入し、ポストに投函下さい。また、URL等からWEB上でもご回答いただけます。

問1.あなた自身について

問1-1.ご回答された方について教えてください

住所	※○丁目以下は記載無しで構いません（例：浜松市中区元城町 など）						
性別	1.男性 2.女性						
年齢	1.10代	2.20代	3.30代	4.40代	5.50代	6.60代	7.70歳以上
職業	1.会社員 2.公務員 3.自営業 4.主婦・主夫 5.学生 6.パート・アルバイト 7.無職 8.その他（ ）						

問1-2. 普段自動車を利用されますか？（同乗の場合も含みます）【1つ選択】

自動車利用	1.ほぼ毎日	2.週に数回程度	3.月に数回程度	4.ほぼ利用しない	5.利用したことがない
-------	--------	----------	----------	-----------	-------------

問1-3.「問1-2」で 1 ～ 4 と回答された方にお聞きします。

別添資料の地図に示す『国道1号 浜松バイパス（アンケート対象区間）』を普段利用されますか。

1.ほぼ毎日 2.週に数回程度 3.月に数回程度 4.ほぼ利用しない 5.利用したことがない

問1-4.「問1-3」で1～4と回答された方にお聞きします。

『国道1号 浜松バイパス（アンケート対象区間）』を利用する主な目的を教えてください。【1つ選択】

1.仕事（通勤除く）	2.通勤・通学	3.日常的な買い物・通院等	4.観光・レジャー	5.その他（ ）
------------	---------	---------------	-----------	----------

問1-5.「問1-4」で向かう主な目的地はどこですか？

※○丁目以下は記載なしで構いません

() 都・道・府・県 () 市・区・町・村 ()

問2.国道1号浜松バイパス（アンケート対象区間）及び交差道路には、どのような交通課題があると思いますか。

以下の①～④の項目について、4段階評価してください。

【4段階評価】 4.強く思う 3.どちらかというと思う 2.どちらかというと思わない 1.全くと思わない

交通に関する課題		あなたの評価の程度			
①信号交差点が多く、信号待ち時間が長い	4	3	2	1	
②隣接するバイパス（磐田バイパスや浜名バイパス等）と比べ、速度が遅い	4	3	2	1	
③朝・夕方を中心に渋滞が発生し、到着時間が読めない	4	3	2	1	
④交通事故が多く、安全性が低い	4	3	2	1	
その他（自由回答）					

問3.対策案を検討する際に重要だと思うことは何ですか。

以下の①～⑨項目について、4段階評価してください。

【4段階評価】 4.強くそう思う 3.どちらかというと思う 2.どちらかというと思わない 1.全くと思わない

道路の機能		あなたの評価の程度			
①信号交差点が今より少なくなり、速度が向上すること	4	3	2	1	
②朝・夕方を中心とする渋滞が改善すること	4	3	2	1	
③交通事故が少なくなり、安全性が向上すること	4	3	2	1	
④騒音による生活への影響が小さく、配慮がなされていること	4	3	2	1	
⑤日照阻害による生活への影響が小さく、配慮がなされていること	4	3	2	1	
⑥道路整備に伴う用地買収範囲が小さいこと	4	3	2	1	
⑦工事中の地域への影響（交通規制等）が小さいこと	4	3	2	1	
⑧道路をつくる費用が安いこと	4	3	2	1	
⑨整備効果が早期に発現すること（早く完成すること）	4	3	2	1	
その他（自由回答）					

問4.その他

その他、今後の国道1号浜松バイパス（アンケート対象区間）の道路整備についてのご意見がありましたらお書きください。（自由回答）

例) 渋滞が改善されれば、通勤においてとても便利になると思う。